

お客様各位

マイクロソフトは8月19日、セキュリティ情報「MS15-093」を定例外で公開しました。もっとも深刻度が高い「緊急」レベルの情報で、Internet Explorer の脆弱性に関するものです。

この脆弱性が悪用されると、ユーザーが Internet Explorer を使用して特別に細工された Web ページを表示した場合などに、リモートから攻撃者に遠隔操作され、パソコンを制御される可能性があります。

対象となるのは、現在サポートされている全ての IE のバージョン (Internet Explorer 7 (IE 7)、Internet Explorer 8 (IE 8)、Internet Explorer 9 (IE 9)、Internet Explorer 10 (IE 10)、および Internet Explorer 11 (IE 11)) です。

8月12日に公開された8月の定例更新と合わせ、Windows Update による自動更新などを利用し速やかに更新プログラムを適用してください。

すでにアップデート済みの方については作業の必要はありません。

確認方法は Windows Update を起動して更新履歴の表示を開き8月12日以降の Windows7 用セキュリティ更新や8月19日の IE11 (バージョンは各自のパソコンのもの) セキュリティ更新は履歴にあれば OK です。

平成 27 年 8 月 27 日